

2010年11月15日
東レ株式会社

中国での高機能ポリプロピレン長繊維不織布事業を増強 ～ 東麗高新聚化(南通)有限公司(TPN)で年産2万トン増設 ～

東レ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:日覺 昭廣、以下「東レ」と Toray Advanced Materials Korea Inc.(TAK)(本社:韓国ソウル市、代表理事社長:李 泳官、以下「TAK」)は、中国で高機能ポリプロピレン長繊維不織布(以下「PPスパンボンド」)事業を展開している東麗高新聚化(南通)有限公司(本社:中国江蘇省南通市、董事長:李 泳官、以下「TPN」)に年産20,000トンの設備を増設することを決定いたしました。投資額は約50億円で新規設備は2012年7月の稼働開始を目指します。増設後のTPN社の生産能力は年産58,000トンとなります。

東レグループのPPスパンボンド事業は、韓国のTAK社で年産50,000トン規模の設備を有し、韓国国内はもちろん、日本、中国、ASEANなどアジア各国へ向けて幅広く販売しています。一方、中国のTPN社は中国での急速な需要拡大が見込まれる、紙おむつなどの衛生材料やメディカル用途、その他工業資材や農業資材用途に向け、PPスパンボンドを中国国内で供給するため、2006年12月に設立し、2008年2月から年産18,000トンの規模で稼働を開始しました。その後、中国国内の旺盛な需要に支えられ、フル生産・フル販売の状況が続いており、現在、2期目として年産20,000トンの設備を2011年3月の稼働開始予定で増強中です。今回の3期目の増設により、TPN社は既存設備を含めると年産58,000トンとなり、TAK社の年産50,000トンを加えると、東レグループ全体では年産108,000トンで、引き続きアジアナンバーワンのPPスパンボンドメーカーとして積極的に事業展開を推進します。

紙おむつや生理用ナプキンなどの衛生材料用途、手術用のガウンや覆い布などのメディカル用途、その他工業資材、農業資材用途などの分野に使用される高機能PPスパンボンドの中国需要は急速に拡大しており、中でも子供用の紙おむつ等衛生材用の不織布需要は、2010年73千トン/年から2015年198千トン/年に、医療用の需要は、2010年12千トン/年から2015年22千トン/年に増加すると推定され、持続的に拡大すると予測されます。TPN社は、TAK社と一体となった営業戦略で、すでにアジア各国で事業を展開する大手衛材メーカーと良好な取引関係を構築していますが、今回の増設によって、取引関係がより強固なものになるよう、引き続きお客様の需要拡大に 대응していきます。

当社は中期経営課題“プロジェクトIT-Ⅱ”において、当社グループが高収益企業として持続的成長を遂げるため、『将来の成長に向けた事業構造改革の推進』の一環として、成長戦略推進プロジェクト「APGプロジェクト」に取り組んでいます。本プロジェクトにおける基本戦略の一つである「巨大成長市場であるアジア、特に中国の成長ポテンシャルを取り込む」べく、今後も積極的に中国での事業拡大を推進してまいります。

以上

【お問い合わせ先】 東レ(株) 広報室 TEL[東京]03-3245-5179、[大阪]06-7688-3085

東レ株式会社 広報室 < 東レホームページ <http://www.toray.co.jp/> >

【東京】〒103-8666 東京都中央区日本橋室町 2-1-1 日本橋三井タワー 25 階 (TEL 03-3245-5179)

【大阪】〒530-8222 大阪府大阪市北区中之島 3-3-3 中之島三井ビルディング 30 階 (TEL 06-7688-3085)